

広報



あくね

阿久根特産
アクネ
うまいネ
自然だネ

第555号

編集・発行/阿久根市役所総務課 〒899-16 鹿児島県阿久根市鶴見町200番地

九州選抜高等学校駅伝競走大会



(一丸となって陸上競技場から出ていく各校1区走者ら)

平成5年

めざすは都大路

4月号

華の1区スタート!

すばらしい郷土を次代へ引き継ごう

豊かな活力あるまちづくり

平成5年度施政方針



施政方針を述べる新浜市長

平成五年第一回定例市議会が三月五日に開会され、新浜勝記市長が本年度の施政方針を発表しました。

この中で新浜市長は、「すばらしい郷土を自信をもって次代に引き継ぐため、市民一人ひとりのエネルギーを結集すべき大事なときである」と、二十一世紀を迎えるに当たり重要な時期であるとの認識を示し、今後更に市政の円滑な運営と市勢の浮揚発展のため、積極的な諸施策を推進していく決意を明らかにしました。

その施政方針の主旨を紹介します。

市民一人ひとりの英知と エネルギーの結集を！

平成五年第一回定例市議会の開会に当たり、市政に対する所信を申し述べ、議会並びに市民皆様の「一層のご理解をいただき、市政の推進にご協力を賜りたい」と存じます。

私は、市長就任以来誠実をモットーに、海と緑を活かした「豊かな活力ある阿久根を創る」ことを目標に、市民皆様の温かいご支援と議会の力強いご協力のもと、諸施策を積極的に推進して参りました。

そして今、私たちは来るべき二十一世紀に向かい、次代を担う青少年たちに、すばらしい郷土阿久根を自信を持って引き継ぐためにも、今こそ郷土を愛し、郷土に誇りを持つ市民一人ひとりの英知と、総親和の基に、その燃え立つエネルギーを結集すべき大事なときであるかと痛感いたしております。

そのために先に策定いたしました「第三次阿久根市総合開発計画」と「阿久根市過疎活性化計画」に基づき

- 地域の特性を生かした農林水産業の振興と、「美しいむらづくり特別対策事業」の推進
- 商店街の活性化と地場産業の振興、阿久根大島を中心にした観光施設の整備促進、企業誘致による就業機会の拡大
- 快適な生活環境づくりのため道路網の整備、番所丘公園等の建設促進と、阿久根東郷線の早期完成、西回り自動車道、三県架橋実現の積極的な推進

- 心のふれあいを大切に、高齢者、身障者、母子等心のかよったきめ細かな施策の推進と、福祉事業の充実
- 教育文化施設の整備充実を図り、次代を担う有能な人材育成の強化と、生涯学習の推進
- 国、県との連携を密にし財源の確保につとめ、健全財政を堅持し、行政サービスの向上を図るなど

これらを基本的な施策として、当面する重要課題とその推進について申しあげます。



番所丘公園にバターゴルフ場が完成。芝の緑が美しいゆとりのあるコースです。

中・高校生の海外派遣事業を継続 西まわり自動車基本計画決定に期待 道の阿久根区間

初めにふるさと創生事業の一つであります仮称「アケネ、うまいネ、自然だネ」センター建設についてありますが、これまでセンター建設計画について、基本設計に先立ち、建物の基本的事項について設計コンペに附し、基本設計の作業をいたしてまいりましたが、建物の具体的利用等について、今後引き続き関係団体等との意見交換を十分行い、建物の設置及び運営の方法等を含め、その実施に向けて努力いたして参ります。

また、二年目を迎えます「人材育成事業」につきましては、本年度も中・高校生を対象に海外派遣事業を実施いたしますが、昨年実施いたしました結果をみても子供達が直接海外において生活を通じて体験することは、将来に向かって大きな第一歩となるものと期待いたしますのであります。

次に道路網の整備であります。その第一に阿久根東郷線建設促進であります。平成三年度に本格着工され、平成四年度においてはその予算

も三倍強と大巾な伸びとなり事業が順調に推進されておりますことは県当局を始め地元関係者のご協力のたまものと深く感謝いたして参ります。

この道路は、北薩地域の広域的な基幹道路であり、一般県道より主要地方道への格上げと未開通部分のトンネル着工について強く要望いたして参りましたが、平成五年度においてその実現が見られると期待いたして参ります。

今後さらに事業促進を図るため議会並びに市民のご理解とご協力をいただき積極的な運動を展開して参ります。

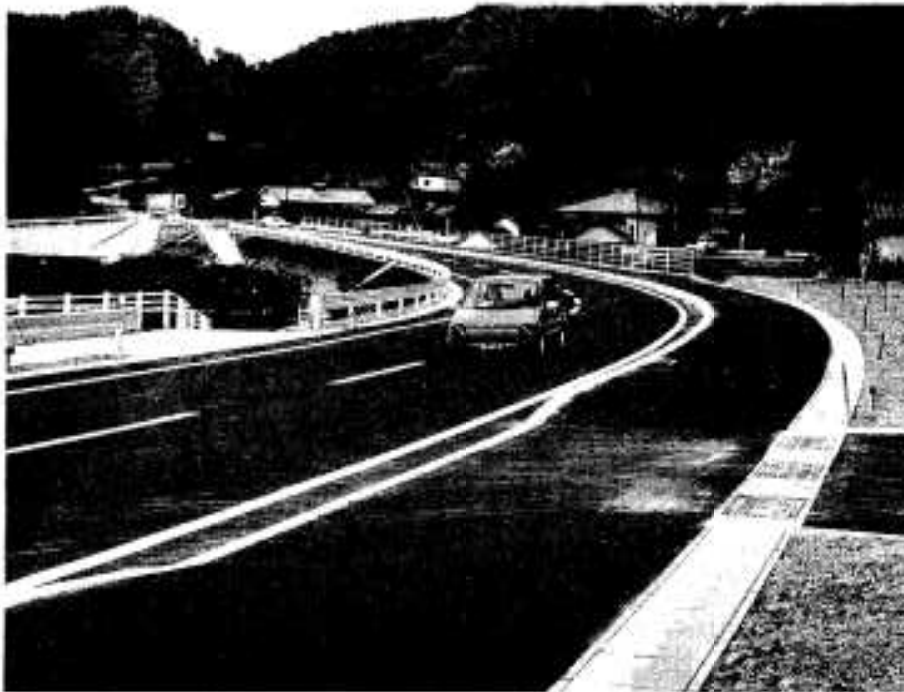
商工業振興に独自の融資制度創設 基金創設で北薩圏域の一体的振興を

また、三県架橋の建設促進につきましても、南九州自動車道とも重要な関連がありますので、関係市町村とも相協力して建設促進について運動を展開いたして参ります。

南九州西回り自動車道の建設促進につきましては、沿線市町村で組織する建設促進期成会並びに両県で組織する建設促進協議会と合同して、また阿久根市でも行政、議会、経済団体と協同して建設省を始め関係省庁に積極的に陳情を重ねて参りましたが、平成三年十二月に基本決定された芦北―出水間が、平成五年に整備計画に組み入れられるとの期待をいたして参ります。

同時に、出水―阿久根―川内間約四十六キロの一部が今春基本計画決定される見通しも明るく、長い間みんな努力を重ねて来た甲斐があったとその喜びを分かち合いたい気持ちで一杯でございます。更に全区间が整備計画決定されますよう全力をあげて強力な運動を展開して参ります。

企業誘致についてであります。が雇用の場の確保、若者の定住を図る上で重要な課題と受け止め、誘致運動を進めて参りましたが、ご案内のとおりわが国の構造的不況により企業の設備投資



早期開通へ向け着々と整備改良が進む黒道阿久根東郷線 (写真は田代下区)

資がおさえられ、本市における企業経営にも厳しいものがあります。このことは地場企業においても同様であると考えます。時に、若者が定住する環境を整える対策として、住宅や商業施設の整備をいかに進めるか、関係団体とも協力して参ります。

その対策の一つとして、平成五年度新規事業として市単独の融資制度を創設し原資を預託し、

つなぎ資金や運転資金あるいは体質強化のための設備資金として有効に活用してもらい、不況対策の一助として商工業振興のため支援することといたしましたので関係皆様のご協力をお願いする次第であります。

次に「ふるさと市町村圏基金」の創設について申しあげます。

これまで北薩広域市町村圏の振興整備につきましては、事務

組合を設置し各種の事業を実施いたして参りましたが、今般さらに圏域がより協力して広域的な視点により、創造的、一体的な振興整備を図るために、北薩広域行政機構にふるさと市町村圏基金十億円の創設を行い、そ

「美しい村づくり事業」で阿久根漁港並びに大島の施設整備を推進

次に主な施策とその概要について申しあげます。

まず、産業の振興から申しあげます。

農業振興を図るには、農家が意欲をもって経営に取り組む基盤の整備が第一であり、地域の特性を生かした農業振興が図られるよう更に努力して参ります。

そのための土地基盤整備等の地元負担については、引き続き軽減策を講じ、併せて商品価値の高い作目の選定と競争力の強い産地の形成を図る対策を講じ、政策推進に当たっては農協ほか関係機関と連携を密にし、事業推進を図って参ります。

畜産につきましては、自由化に対応できる畜産農家を育成するため、地域畜産活性化事業の推進による肉質向上対策や、素

の基金の果実を活用し、広域の観点から地域経済地場産業の振興、文化、生涯学習、健康づくり、スポーツ活動など多様な地域振興事業を積極的に進めようとするものであります。

畜導人資金貸付等による経営の安定対策を進めて参ります。

林業につきましては、林道、作業道、急坂舗装の整備を進めるほか、竹林改良事業等を推進し、優良箱の生産振興に努めて参ります。

基幹産業の水産業は、近年生産コストの高騰等大変厳しい環境にありますが、引き続き漁業協同組合の協力の下に各種魚種の投入等、漁場づくりを推進しながら、栽培漁業センターにおける従来の種苗生産と併せ、特に本年度からヒラメの中間育成施設を活用した「作り育てる事業」を一層推進し、漁業基地としての漁港、港湾の整備を図る

とともに、本年度は阿久根漁港地区を中心として指定された「美しい村づくり特別対策事業」



阿久根大島にバンガロー風「海の家」が完成

が事業実施される年でありますので、景観や親水性に配慮した大島公園センターハウスの建設等施設整備を積極的に進めて参ります。

商工業の振興につきましては、先に申し述べました市単独の融資制度を創設するほか、商店街の後継者の先進地研修事業やアーケード占用料の補助など商工業全体の活性化のために目に見えたわかりやすい対策を一步前進させて参ります。

観光につきましては、ウォーターフロント開発計画の一環でもあります大島公園の基本計画に基づき、美しい村づくり特別対策事業の導入と合わせて、新港埋立地の開発計画とも整合性をもたせながら施設整備を進めて参ります。

番所丘公園。パターゴルフ場が完成 新葬祭場の早期建設に努力

土木事業関係について申しあげます。

道路の整備は、本年度も国の補助事業や過疎活性化事業等、各種の事業を導入し整備充実を図り、併せて交通安全施設の整備も進めて参ります。

都市計画では、湯土地区画整理事業の推進を図っているところであり、本年度は引き続き宅地造成、街路の整備、建物の移転等のほか、大橋川改修に係る橋梁の架設、市営住宅二十四戸を建設する計画であります。

市民の健康対策として、市民の健康管理を長期的、効率的に推進するためコンピュータシステムを活用し、事務の省力化と、検診データ等の蓄積、管理を一元化し、市民への保健指導を総合的に進めて参ります。

生活環境面では、ゴミの減量対策等を積極的に進めて参りましたが、焼却炉補助事業等事業効果が顕著で、ゴミ袋統一など市民の協力の賜であり、感謝申

して申しあげます。

番所丘公園の整備につきましては、パターゴルフ場や二百六十五段の階段（通称一年階段）の共用開始等施設も一段と充実して参ります。



総合体育館は来年7月に完成予定

また本年度事業として徒渉池を始め園路、花木園等の整備を進めて参ります。

民生関係につ

しあげておりますが、更にリサイクル対策など市民のゴミに対する意識の高揚を図り、ゴミの減量と環境美化に努めて参ります。

また、懸案の葬祭場についてであります。この度西目の佛石に設置することにつきまして地元の合意と積極的な協力が得られることになり、用地交渉委員も決定していただき用地買収の準備を進めております。

福祉につきましては、特に本年度は、高齢社会に対する市民の意識啓発を図りながら、老人に対して心身の健康保持と生活の安定に必要な措置を講じるた

め「阿久根市老人保健福祉計画」を策定し、これに基づき老人保健福祉対策を進めて参ります。また、高齢者等コミュニティセンターを設置し、市内高齢者及び老人クラブ等の研修、コミュニティ活動など、自主的活動の助長を図ることにより高齢者の福祉を増進して参ります。

教育については、特に本年度は、高齢社会に対する市民の意識啓発を図りながら、老人に対して心身の健康保持と生活の安定に必要な措置を講じるた

阿久根小にオープンスペース型校舎建設 「カルチャーランド」基本構想策定へ

教育について申しあげます。

学校教育におきましては、主な事業として、阿久根小学校の三号校舎のオープンスペース型校舎としての改築をはじめ、各学校の実情に見合った事業を実施して参ります。

社会教育では、生涯学習社会に対応するため、生涯学習機会の拡充と、学習推進体制の確立を図るとともに「カルチャーランド」の基本構想の策定と社会教育施設の充実活用を図って参

ります。

社会体育におきましては、生活の中にスポーツを合言葉に市民の健康づくりとスポーツ振興のために、総合体育館建設工事二年目を迎えて、体育施設の整備充実を図り、市民に等しく活用してもらおうとともに、各関係団体の活性化と、その協力によるスポーツイベントの定着と充実に取り組み、まちの活性化に努めて参ります。

水道行政についてであります



高齢化対策も重要課題(老人家庭介護講習会の模様)

が、近年市民の生活様式の向上等で水需要の増加が予想されます。そこで良質な水を安定的に供給するため、第五次拡張事業により、新たな水源地のほか、施設の拡充を進めて参ります。

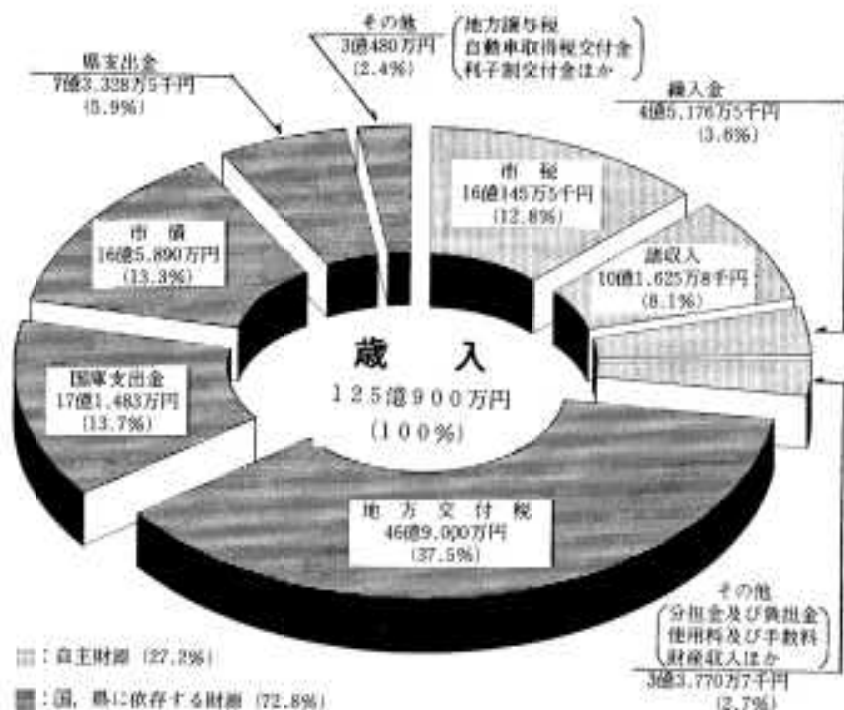
以上施策の方針について所信を申しあげましたが、これらの施策の実現に向けて、市長以下職員が一体となって住民の負託に応え、市勢の発展のため地方自治の本旨を全うすべく最大の努力をいたす所存でございます。何卒議会を始め、市民皆様のご理解をいただき、積極的なご協力を賜りますようお願い申し上げます。

まちづくりのために 125億900万円



平成五年度当初予算が第一回定例市議会で可決されました。
一般会計が百二十五億九千万円で、前年度当初に比べ六億七千七百九十二万三千円の増となり五・七三%の伸びとなりました。
そのほか特別会計が六十四億五千六万八千円、企業会計が七億二千五百五十万五千円となっています。

景気の低迷による税収の落ち込みや国からの交付税等の減などで、本年度はやや緊縮型の予算となりましたが、市民の健康と福祉を守り、活力に満ちた住みよいまちづくりを進めるため、総合開発計画を始めとした各計画の具体的事業の実現に向けての予算編成がなされました。



＝環境整備事業＝

(単位：千円)

- 焼却炉購入補助 (1/2補助) 2,750
- ウミガメ保護監視委託 513

＝農林業振興対策事業＝

- ☆たばこ生産性向上対策事業 15,300
- ☆農家台帳電算システム導入事業 2,764
- 農業構造改善事業 139,978
(農業農村活性化農業構造改善事業ほか)
- 農村総合整備モデル事業 116,619
(農道及び集落排水等整備)
- 林道整備事業 67,278
(鷹首線、古川線、八郷笠山線ほか)
- 団体営農道整備事業 38,619
(園田前、中津原、山之口地区)
- 土づくり推進事業 1,270
(展示ほ委託14か所、深耕2ha)
- ほ場整備地元負担軽減補助金 10,000
(藤本中央区)

＝住民の健康対策＝

(単位：千円)

- 健康指導及び審査検診事業 76,346
(健康審査ほか)
- 救急医療対策事業 11,016
(在宅当番医制ほか)
- ＝高齢者対策事業＝
- ☆老人保健福祉計画策定事業 6,500
- ☆高齢者等コミュニティセンター運営事業 2,393
- デイ・サービス事業 18,670
- 高齢者労働能力活用事業 23,850
(シルバー人材センター)
- 地域福祉対策事業費 9,204
(介護手当、給食サービスほか)
- 在宅ねたきり老人対策事業 7,152
(巡回入浴委託ほか)
- 敬老金支給事業 5,730
- 高齢者就業機会開発事業 10,767
(失対引退者への業務委託)

☆は新規事業

特別会計 (単位: 千円)

◇国民健康保険	2,564,470
◇食肉センター	198,212
◇簡易水道	45,411
◇交通災害共済	8,603
◇冷蔵庫	19,030
◇国民宿舎	380,598
◇老人保健医療	3,233,744

水道事業会計

◇収益的支出	300,340
◇資本的支出	434,765

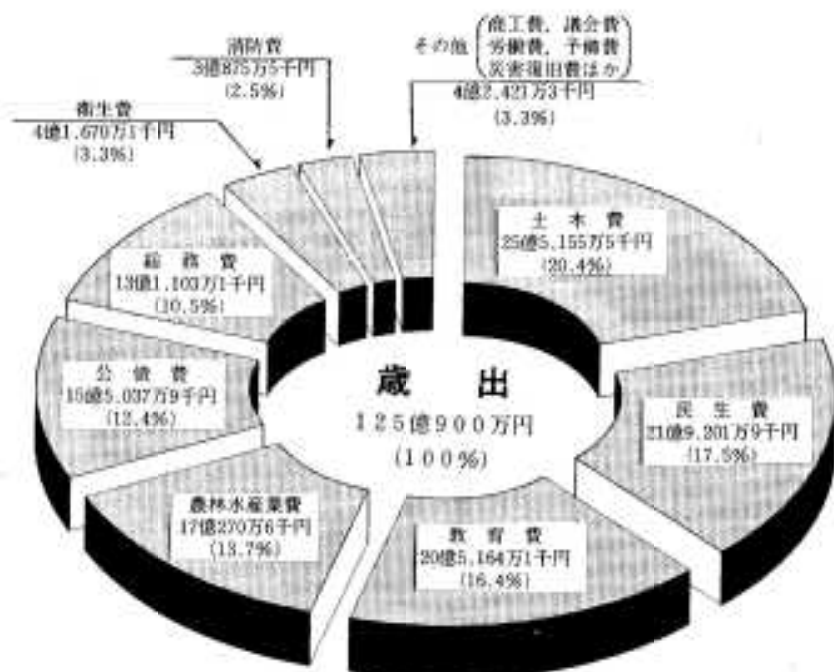
活力に満ちた住みよし
平成5年度一般会計予算

市民1人当り予算額

44万2,843円

(人口28,247人 H.5.3.1現在)

土木費	90,330円
民生費	77,602円
教育費	72,632円
農林水産業費	60,279円
公債費	54,887円
総務費	46,412円
衛生費	14,752円
消防費	10,931円
その他	15,018円



＝教育施設等整備事業＝ (単位: 千円)

☆総合体育館建設事業 (5年度分) (平成4年度-6年度)	740,312
○阿久根小学校校舎改築事業	458,067
☆グリーンキャンパス事業 (学校環境整備)	3,000
☆文化財標柱等設置事業	2,000
○小中学校運動場散水設備設置事業	2,500
＝その他＝	
☆ふるさと創生事業 (ふるさと市町村圏基金、海外派遣事業)	120,895
☆民謡フェスティバル事業	1,621
☆母子家庭修学助成	1,200
○九州選抜高等学校駅伝競走大会	3,576
○高速交通対策推進費	2,217
○50歳組歓迎レセプション事業	1,027
○県防災訓練関係費用	3,209
○市議会議員選挙費	12,022
○あくね「よかどし」学寮事業	389

＝水産業振興対策事業＝ (単位: 千円)

☆美しい村づくり特別対策事業	150,000
○漁港整備事業 (脇本港、佐湯港、牛之浜港ほか)	241,318
○水産動物種苗生産費	26,261
＝商工観光振興対策事業＝	
☆中小企業振興資金	106,000
○番所丘公園整備事業	101,000
＝道路整備事業＝	
○市道新設改良事業ほか (中源田山下線ほか)	397,268
○交通安全施設整備事業 (ロードミラー、ガードレール設置)	6,533
＝都市計画及び住宅対策事業＝	
○土地区画整理事業 (湯土地区画整理事業)	1,155,530
○都市下水路事業	80,000
○市営住宅建設事業 (ふれあい団地 3階建 2棟 24戸)	323,920

平成5年第1回定例市議会

当初予算など37議案を可決

母子家庭修学金支給条例を新たに制定

平成五年第一回定例市議会が、三月五日から二十六日までの二十二日間の会期で開かれ、五年度一般会計当初予算を含む議案三十七件を原案どおり可決しました。

一般会計予算は総合体育館建設費や阿久根小校舎改築費、中小企業振興資金預託金、美しい村づくり事業による大島センターハウス建設費など総額百二十五億九百万円を計上。その他、認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例や母子家庭修学金支給条例などが制定されました。

可決された主な議案等の内容は次のとおりです。

の一部改正について

消防団員の報酬及び費用弁償の額を増額したものの、(改正により年額報酬は次のとおりとなります。分団長六万円、副分団長四万三千元、部長三万五千元、班長三万二千元、団員三万一千円)

阿久根市交通災害共済条例の一部改正について

交通災害共済見舞金の額を引き上げ、市民の生活の安定と福祉の増進に寄与するため、条例の一部を改正したものの、

阿久根市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の制定について

認可地縁団体の利便の増進及び取引の安全に寄与するため、認可地縁団体の代表者等に係る印鑑の登録及び証明に関する事務について必要な事項を定めたものの、

阿久根市国民宿舎基金条例の制定について

国民宿舎の施設の整備、財産の管理その他運営について財源

条例の一部改正について

特別職報酬等審議会の答申に基つき、特別職の報酬を改定するとともに報酬の支給方法を改正したものの、

阿久根市国民健康保険条例の一部改正について

国民健康保険被保険者の死亡に係る葬祭費の支給額を、現行一万円から三万円に増額するため、条例の一部を改正したものの、

阿久根市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例

を確保するための条例を制定したものの、

阿久根市都市公園条例の一部改正について

番所丘公園バターゴルフ場の共用開始と阿久根大島の海の家の整備に伴い、使用料や管理料について定めたものの、

阿久根市奨学金貸付基金条例の一部改正について

公立高等学校及び国立大学等



濁区柿山団地横に新たに建設されたふれあい団地

の授業料の改正に伴い奨学金の額を増額し、併せて基金利用者の枠の安定確保を図る基金増額のための条例の一部を改正したものの、

阿久根市母子家庭修学金支給条例の制定について

母子家庭へ修学金を支給し、母子家庭における生活の安定と児童福祉の増進を図るための条例を制定したものの、

中小企業振興資金融資制度スタート

市では市内で中小企業を営む方を対象に、商工業の振興を図ることを目的として、4月から阿久根市中小企業振興資金融資制度をスタートさせました。

現在、国内経済はバブル崩壊等により景気の低迷が続いており、市内の中小企業者の経営も厳しい状況にあります。今回の制度は、このような状況を踏まえ中小企業の経営安定と育成を図り、商工業の振興・発展を金融面から支援しようとするものです。

この制度は、中小企業が運転資金あるいは設備資金などを金融機関から融資を受ける時、一般の資金より低い金利で資金を融資し、融資期間の支払利息と信用保証料の一部を市が補助しようとするものです。市が市内の金融機関（鹿児島銀行、南日本銀行、鹿児島相互信用金庫、鹿児島信用金庫の各支店）へ1億円の預託を行い、金融機関がこれに自己資金を加え合計3億円程度の資金を作ります。この資金枠により、一般の貸出金利より低い金利で融資を行うものです。

資金の種類は、

- ◎季節資金……季節的に必要な事業資金として利用できます。
- ◎小口資金……運転資金や簡単な設備資金に利用できます。
- ◎地場産業振興資金……商工業の設備投資に利用できます。

の三つがあり、融資条件は下表のとおりです。今回、本市独自の制度としてスタートしたこ

の資金融資制度は、金融機関から低金利で融資が受けられ、更に小口資金と地場産業振興資金については融資金利5.5%ですが、利息の支払後約2%分の利息を市が補助するため実質3.5%で借り入れができることになります。

また、融資を受ける際に県の保証協会への保証料の支払いが必要ですが、これについても融資期間内の保証料の25%を補助し、うち1年分は保証料の全額の補助を受けられます。なお県の融資制度による小口資金、商工業設備資金についての保証料の補助は従来どおり25%の補助を行います。

この制度による融資申し込み窓口は商工会議所となっており、借り入れ後の利息補助金及び保証料補助金の申請、請求、受領については、商工会議所で事務手続きができるようになっていきます。詳細については、市役所商工観光課商工係（☎1211内線1111）、阿久根商工会議所（☎1185）及び市内取り扱い金融機関までお問い合わせください。

阿久根市中小企業振興資金融資制度

1. 資金の種類及び融資の条件

資金の種類	融資の目的	融 資 条 件					
		資金の使途	融資金額	融資期間	償還方法	融資利率	保証人等
季節資金	季節的に必要な事業資金	運転資金	100万円以内	90日以内	一括返済	率 7.0%	原則として2人以上1名については第3者とする。
小口資金	小口簡単な経営資金	運転資金 設備資金	500万円以内	5年以内 (1年以内の繰上期間を含む)	元金均等月賦返済	率 5.5%	①県信用保証協会に準ずる ②県信用保証協会の信用保証付き
地場産業振興資金	商工業設備資金 (土地を除く)	設備資金	2,000万円以内	10年以内 (1年以内の繰上期間を含む)	償 還 種 元金均等月賦返済	率 5.5%	① 同 上 ② 同 上

2. 利息補助

阿久根市中小企業振興資金	利 子 補 助 率	期 間
小 口 資 金	鹿児島県中小企業振興資金融資利率と阿久根市中小企業振興資金融資利率に1パーセント加算した率を、阿久根市中小企業振興資金融資利率で除した割合	5年以内
地場産業振興資金	同 上	10年以内

3. 保証料補助

区 分	補 助 期 間	補 助 額
阿久根市中小企業振興資金 小 口 資 金	融資を受けた日から1年以内	保証料の全額
阿久根市中小企業振興資金 地場産業振興資金	1年を超えて融資期間満了まで	保証料の25パーセント
鹿児島県中小企業振興資金 (小口資金及び商工業設備資金)	融資を受けた日から融資期間満了まで	保証料の25パーセント

第3回阿久根市長旗九州選抜高校駅伝

報徳学園が2連覇、鹿商工が健闘3位



1区6km付近の登り坂を力走する選手たち

第三回阿久根市長旗九州選抜高校駅伝大会は三月二十八日、総合運動公園陸上競技場を発着点に七区間四二・一九五キロで健脚が競われました。九州各県を中心に全国大会でも知られた有名駅伝校十七校が参加して、白熱したレースを展開。各区間において安定した走りを見せた報徳学園（兵庫）が、2時間10分56秒で二年連続の優勝を飾りました。



ガッツポーズでゴールする南選手(報徳学園)

当日はあいにくの雨模様の中、正午に母砲とともに一斉にスタート。報徳は二区から首位に立ち、六区間で一位、二位をマークする安定した走りです。トップでゴールイン。序盤やや出遅れた鶴崎工（大分）は三区から盛り返し2時間12分20秒で二位に入りました。

地元勢では鹿商工が後半粘りを見せ三位に入る健闘を見せました。鹿児島実は一区で区間賞をとったものの後続が振るわず12位。阿久根農高は13位に終わりました。

沿道には多くの市民が出て、力走する選手に盛んな声援を送っていました。

成績は次のとおりです。

- ①報徳学園（兵庫）2時間10分56秒
- ②鶴崎工（大分）2時間



阿久根市長旗が再び報徳学園へ

- ③鹿児島商工2時間13分10秒
- ④鎮西（熊本）
- ⑤九州国際大付（福岡）
- ⑥西海学園（長崎）
- ⑦九州学院（熊本）
- ⑧小林（宮崎）
- ⑨大牟田（福岡）
- ⑩西脇工（兵庫）
- ⑪白石（佐賀）
- ⑫鹿児島実
- ⑬阿久根農高
- ⑭沖繩尚学（沖縄）
- ⑮大分東明（大分）
- ⑯れいめい
- ⑰鳥橋工（佐賀）



開会式で宣誓する森選手(阿久根農高)

九州で初めて、養液れき耕栽培に成功

ミニトマトを初出荷

野菜ハイテク農家育成モデル事業（二年前の県単新規事業）を活用して、脇本新田地区で栽培が進められていた養液れき耕栽培によるミニトマトが収穫の時期を迎え三月二十三日、市場へ向け初出荷されました。ハイテク技術を駆使した同栽培方式は、九州では初めての試み。減農薬で高品質の野菜を生産することで高所得を目指しており、関係者の関心を集めています。

養液れき耕栽培は、培地に火山れきを使用するのが特徴で、硝酸カリやリン酸アンモニアなどの濃厚液と水を混ぜ合わせた培養液を、火山れきを敷き詰めた液槽に循環させ、ミニトマトの苗を生育させるものです。火山れきは吸水性、保水性に優れ、県内に豊富にある資源を使っての栽培方法です。土耕栽培に比べ①施肥や除草作業が省力化される②土壌を使用しないので連作障害が避けられる③肥料のコントロールが容易で糖度の高い高品質の商品が作れる④安定した収穫が可能などが上げられ、また単なる養液栽培に比べると火山れきに根を張らせることに



新しい栽培方法で育ったミニトマトを手にする西田さん(手前)と石原さん

より、養分の吸収が良くなり品質も高いものができるということです。

栽培は、石原勇一郎さん(27)と西田兼一さん(25)の若い二人がモデル実施農家として、県や経済連の補助を受け約五十万のビニールハウスで実施。総事業費は六千万円。十一月に種をまき、十二月に定植、約四ヶ月で収穫となりました。

収穫されたミニトマトは色づきがよく、若干大ぶり。糖度も高く、日もちが良いとのこと。

県経済連北薩野菜事業所では、初年度は施設整備の関係で収穫期間が短く、生産量三十トン、一千五百万円を、次年度は五十トン、二千五百万円を見込んでおり、当面は福岡市場を中心に出荷していく予定とのこと。

ました。

「友だちが簡単に作れる方ですか」「感情を表に出すタイプですか」などの質問に、まず各人がグループ内で話し合い自分の性格を判断、認識します。そして講師がタイプ別に分けて日常生活での注意点を、笑いを交えながら指導。講師のテンポの速い楽しい話に会場内は終始笑いに包まれていました。

石川氏は「楽しみをつくることもまた健康づくりの一つです。喜怒哀楽を分かち合える地域や家庭環境を持つことが健康維持に役立ちます。楽しいふれあいの中で豊かな人生を歩んでください」と、話されていました。

「楽しむことが健康につながります」 “笑って歌って健康づくり”

楽しく健康づくりに取り組もうと三月十七日、市民会館大ホールにおいて健康づくり講習会

当日は市民約四百五十人が参加。楽しく講演を聞いてもらい同時に現在の自分の健康状態を認識してもらうため参加者全員を四人一組のグループに分け、講師が出す様々な質問についてグループで討論してもらおうという、一風変わった講演会となり



笑いが絶えなかった健康づくり講習会

アルバム



731211 内線 1214



思い思いに砂の芸術に挑戦

砂の芸術に悪戦苦闘 臨本下村海岸

サンドクラフト講習会を初めて開催

市教育委員会が主催して三月十四日、臨本海水浴場でサンドクラフトの制作講習会が開かれ、家族連れや教師など約三十人が砂の芸術に挑みました。

砂浜を利用して、自然環境の保護意識の啓発と芸術文化の高揚を図ろうと初めて企画したものです。当日は、東市来町で毎年開かれている国際サンドアートフェスティバルで優勝経験を持つ出水市の吉野弘一さんから三人が指導に当たりました。

参加者らは、砂の土台づくりや基本的な手法などの説明を受けた後、きつそく作品作りに取りかかりました。スコップで砂の山をつくり、テコやヘラなどの小道具を使って、細かな部分を仕上げていきました。写真やイラストを見ながら、少しでも実物へ近づけようと悪戦苦闘。途中で砂が崩れ、作り直すグループもありましたが、試行錯誤を繰り返しながら、二時間後にはカメラやピラミッド、宮殿など十数個の造形が完成しました。

指導に当たった吉野さんは、「このような機会をもっと設けてサンドアートの和を広げてほしい」と話していました。

— 太陽熱を有効利用 —

大規模な給湯システムを導入

回生苑

新町区桜ヶ丘の老人保健施設「回生苑」はこの程、通産省のソーラーシステム普及啓蒙促進事業の補助を受け、施設内で使用するお湯を太陽熱を利用して沸かす大規模なソーラーシステムを導入しました。

同施設は昨年五月に開設。病院と自宅との中間的な医療機関としてお年寄りのリハビリや介護を中心としたサービスを提供しています。入浴や洗濯など、お湯の需要も大きく、今同環境面などにも配慮して太陽熱というクリーンなエネルギーを利用した施設内給湯システムの導入を図ったものです。

システムは真空管式の太陽集熱器（一台三・二平方メートル）四十台を施設の屋上に設置、容量八立方メートルの蓄熱槽とつないで水を循環させ、常時お湯が供給できるようになっています。夏場は摂氏八十五度、冬場でも約六十度のお湯が得られます。総事業

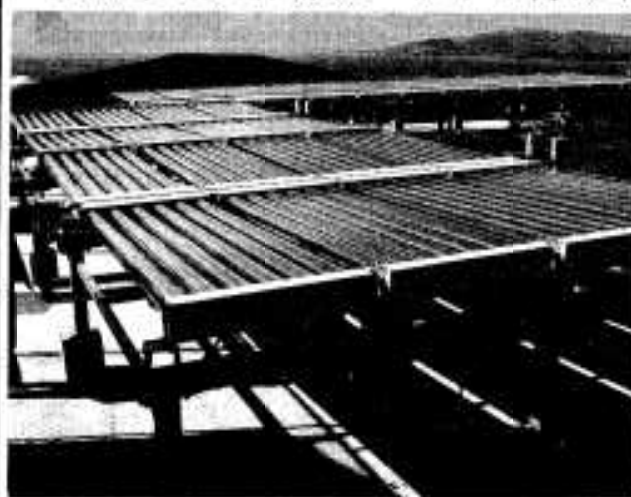
珍妙な竹刀さばきに爆笑

— 臨本剣道スポーツ少年団 —

結成10周年を迎えた臨本剣道スポーツ少年団が3月7日、臨本小体育館で記念の親子剣道大会を開き、父母らの珍妙な竹刀さばきに歓声と爆笑がわきました。部員24人とその父母ら約30人が参加。2分間3本勝負で親子が対決。体力で勝負をかける親たちに対し、子供たちは目撃した技と気合で必戦。親たちに「メン」と鮮やかに一本入るごとに、場内から大きな拍手が返られていました。



費は約千八百三十万円、うち八百六十四万八千円を同事業の補助で賄いました。このように大規模な設備は本市でも初めて。試算では、施設内での一日のお湯の使用量一万七百日リットルのうちの約七十%がこのシステムで賄え、年間約百三万円の燃料費が節減できるということです。



屋上に設置された真空管式太陽集熱器



望遠鏡を贈った松崎さん夫妻

宇宙に行ける日も、そう遠くないと思います。この望遠鏡をのぞいて宇宙への夢をはぐくんでください」とあいさつ。児童代表が、「立派な望遠鏡をありがとうございます。みんなで大切に使います」とお礼の言葉を述べました。市教育委員会では松崎さんの気持ちをくんで四台を阿久根小へ、残り一台と観測ドームは広く市民が利用できるような形で設置場所を検討しています。

「宇宙への夢をはぐくんで」 母校へ望遠鏡を寄付

— 町区の松崎さん —

町区の松崎清助さん（74・建設資材販売業）が昨年六月に市教育委員会へ天体望遠鏡の購入費として五百万円を寄付。望遠鏡が届いた三月十六日に母校の阿久根小で贈呈式がありました。松崎さんが経営する南松崎商店が昨年創業九十周年を迎えた記念と母校への恩返しにと寄付したもので、市教育委員会ではこれに予算を付け足し、天体望遠鏡五台と観測ドーム（スライディングゲルーフ式）一基を購入しました。

みんなの



行事・催し物など
お寄せ下さい。

未発表の植物画 など計100点展示

— 丹宗律光展 —

郷土が生んだ日本画家、丹宗律光画伯の未公開作品などを展示した。丹宗律光展が三月二日から十四日まで、郷土資料館で開かれました。

丹宗画伯は明治三十五年、阿久根村生まれ。大正六年に日本美術学校日本画科を卒業し、昭和八年満州に渡り、満鉄の日本面の講師として活躍。終戦後、日本に引き上げ本市高之口に居を構え、自生する植物などを描き、図鑑の作成に取り組みました。その一部は二十四年の天皇皇后両陛下鹿児島巡行の折り、天覧の栄に浴しています。昭和三十六年、五十九歳で永眠されています。

市では昨年、市制施行四十周年を記念して、画伯が描いた画集全十二巻を複製し、広く市民の方に紹介したところ。特別展では、その複製画集には収録されていない未公開の植物・果物画など約七十点をはじめ、画集の原画や絵画、色紙など計百点を展示。また、生前取り組んだ戯曲や和歌集なども展

益金30万円を市へ寄付

— 文化協会チャリティーショー —

今年で7回目を迎えた市文化協会主催によるチャリティーショーが3月7日、市中央公民館にてぎやかに開かれました。

民謡や詩吟、各流派の踊りなど、総勢250人が次々に出演し、それぞれが日頃の練習の成果を発表。詰めかけた多くの観客から盛んな拍手を浴びていました。

なお今回のショーで集まった益金30万円は、文化振興に役立てると、市へ寄付されました。

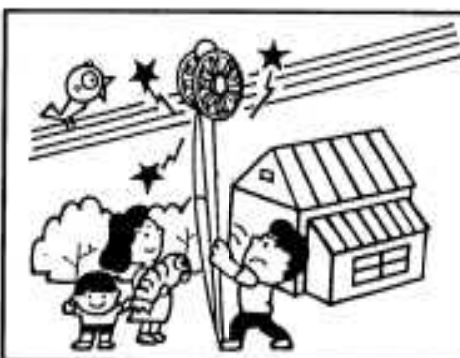


繊細なタッチで描かれた原画を展示

示され、画伯の幅広い文化活動の一端も紹介されました。訪れた人たちは、緻密な学術的色彩に見入っていました。



こいのぼりは
電線にふれない
とJUNP……。



市職員の異動

4月1日付

一 は前職 ○は昇格者
課長級8名

▼商工観光課長(食肉センター)所長一鶴田良平▼福祉事務所長兼老人福祉センター館長(商工観光課長)小原勲▼食肉センター所長(都市計画課長補佐兼管理係長)○末古優▼水道課長(教育委員会社会体育課長)有田勇古▼監査事務局長(水道課長)新町春次▼教育委員会社会体育課長(農業委員会事務局次長兼振興係長)○富吉昭一▼阿久根地区消防組合消防長兼総務課参事(福祉事務所長兼老人福祉センター)館長一馬見新純一▼都市計画課技監兼建築係長(都市計画課主幹兼建築係長)○遠矢良彦

課長補佐級9名
▼税務課長補佐兼課税係長(国民消費管理係長兼営業係長)○大曲勝明▼農政課技術補佐兼農業構造改善係長(農政課農業構造改善係長)○若松洋▼建設課長補佐兼管理係長(議事事務局次長兼議事係長)楠村満則▼都市計画課長補佐兼管理係長(税務課長補佐兼課税係長)新堀修

平▼議事事務局次長兼議事係長(建設課長補佐兼管理係長)鮫島善光▼農業委員会事務局次長兼振興係長(北薩広域事務組合事務局次長)佐湯信義▼企画課主幹兼統計調査係長(福祉事務所主幹兼老人障害係長)中園和之▼福祉事務所主幹兼老人障害係長(福祉事務所参事補)○松永泰子▼北薩広域事務組合(電算課電算係長)○落志

▼電算課電算係長(市民課)○山下道郎▼会計課会計係長(土地改良課)○江部正二▼商工観光課観光係長(教育委員会庶務課財務係長)金山清文▼国民消費管理係長兼営業係長(商工観光課観光係長)尾塚松行▼大川出張所庶務係長(企画課統計調査係長)川畑次美▼議事事務局庶務係長(都市計画課)○梅田裕一郎▼教育委員会庶務課財務係長(会計課会計係長)野崎繁利▼総務課主査(議事事務局庶務係長)大橋隆佳

▼総務課(電算課)児玉秀則▼同課(教育委員会学校教育課)尾塚植久▼財政課(企画課)松崎浩幸▼企画課(総務課)山下友治▼電算課(総務課)上脇良実▼市民課(総務課)倉津タエ子▼同課(商工観光課)下脇克己▼同課(市民課)田淵芳子▼同課(市民課)本藏雄一▼商工観光課(税務課)堂之下方▼水産課(水産課)牛堀佐喜子▼農政課(水産課)園相雄二▼土地改良課(財政課)島久▼同課(建設課)高吉良次▼環境保健課(折多保育所)田中文字▼都市計画課(農政課)牛浜良彦▼福祉事務所(農業委員会)大田和孝▼同課(三笠支所)馬見新ひとみ

▼三笠支所(福祉事務所)楠木智美▼折多保育所(西目保育所)宇都厚子▼同課(臨本保育所)神之田小夜子▼西目保育所(臨本保育所)福田久美子▼臨本保育所(大川保育所)永田靖子▼同課(西目保育所)大原友江▼同課(折多保育所)飛松フチ子▼祝無児童館(瀬之浦児童館)東頼子▼牛之浜児童館(祝無児童館)松崎洋子▼瀬之浦児童館(黒之浜児童館)浜崎裕子▼黒之浜児童館(牛之浜児童館)双津富子▼農業委員会(農政課)小園武志▼同委員会(図書館)楠木祐一▼教育委員会社会体育課(農業委員会)山下理恵▼図書館(税務課)倉津敬幸▼三笠

中学校(西目小学校)久永いち子▼西目小学校(折多小学校)猿楽より子▼折多小学校(三笠中学校)松林幾代▼大川中学校(大川小学校)大田光広▼阿久根小学校(大川中学校)寺地良加▼阿久根中学校(阿久根小学校)車禮順子▼阿久根小学校(阿久根中学校)羽田明美

新規採用17名(一)は配属課
▼原崎久美子(総務課)▼新町博行(市民課)▼猿楽浩士(税務課)▼河北篤司(同課)▼入来久信(水産課)▼田代年孝(同課)▼牧内達志(農政課)▼高吉俊文(環境保健課)▼濱崎雅一(水道課)▼園田豊(教育委員会庶務課)▼東島也(教育委員会学校教育課)▼石原直美(三笠中学校)▼花田省二(大川小学校)▼坂元和久(西目小学校)▼宇都貴子(大川保育所)▼高崎まなみ(西目保育所)▼松永恭志(阿久根地区消防組合)

定年退職者
▼船元謙一(阿久根地区消防組合消防長)▼貴島俊夫(監査事務局長)▼松山教雄(教育委員会庶務課参事)▼福崎鈴子(水産課参事補)▼寺地貴(大川出張所参事補)▼川畑善治(阿久根小学校参事補)▼角光雄(水道課参事補)▼花田秋雄(環境保健課主事)

初心者から上級者まで、みんな集まれー！

番所丘公園 パターゴルフ場

4月23日(金)オープン

番所丘公園にまたひとつ、話題のプレイスポットが誕生。昨年の夏にオープンした人工芝一帯に、この程パターゴルフ場が完成しました。人工芝の緑が美しいコースは9ホールでパー36。バンカーも設けられ、ゴルフを始めたばかりの人からベテランの方まで、みんなが楽しめます。高台のゆとりあるコースであなたも気分よくプレーしてみませんか？

県教委派遣
▼教育委員会学校教育課指導係長(鹿大教育学部附属小教頭)浦口俊裕▼同委員会社会体育課指導主事(吉利小)松崎弘志
▼消防本部警防課長補佐兼警防係長(警防係長)○赤瀬川功▼同警防課長補佐兼予防係長(予防係長)○尾原篤

友だちの輪 ⑦1



下村区
外園 美穂子さん (23)

- 趣 味 食べ歩き
- 好きな言葉 真心
- 好きな花 シンビジウム
- 思い出 子供たちとの出会い
- 何か一 これからも人との出会いを大切にしていきたいですネ。

※次の友だちを紹介してください。
臨本浜区の竹割がすみさん
次はあなたの出番です。



今月の新着図書



- ▼ 椎名誠「地下生活者」▼ 内海隆一郎「湖畔亭」▼ 山崎洋子「シヤイベット・アリア」▼ 立松和平「雷神鳥(サンダーバード)」▼ 佐木隆三「矯正労働者の明日」▼ C・W・ニコル「小さな叛逆者」▼ J・C・ボロック「狙撃」▼ ロバート・デイリー「熱く危険な国」▼ 寺山隆司「崎形のシンボリズム」▼ 奥野健男「三島由紀夫伝説」▼ J・グリシャム「ペリカン文書」▼ 山口正介「道化師は笑わない」▼ 群ようこ「膝小僧の神様」▼ 三浦哲郎「夜の哀しみ」▼ 水木楊「眠れない寓話」▼ 平岩弓枝「お夏清十郎」▼ ノーマン・マクドリン「マクリーンの川」▼ ブライス・コートニー「パワー・オブ・ワン」▼ 吉津耕一「田舎光ります」▼ 宮城谷昌光「重耳」▼ 高橋治「短夜」

市立図書館 利用案内

- 開館時間
- ・ 午前9時～午後5時
- 休館日
- ・ 月曜日(第3日曜日の翌日は除く)
- ・ 第3日曜日、祝日
- ・ 12月28日～1月4日まで
- 貸出冊数 一人3冊以内
- 貸出期間 10日間
- ※貸し出しは無料です。
- ※予約、リクエストを受け付けます。

阿久根短歌会

毛糸編む棒針古りて黒光る二十年
年趣味を支へ来しもの

朝光は紫尾の山壁に照りかけり
木の間にぐれに山鳩の鳴く

わが病癒えねば只の老にして日
々疎ましく妻に従ふ

坂より見える海はをりをり
に雲間もる日に波がしら立つ

限りある命なりけり今日ひと日
老の縁ごと言はず暮さむ

東支那海一望にして君の家白木
蓮が一斉に輝る

近況を告げんと詣づ夫の暮めぐ
りを白き蝶ひとつ飛ぶ

まなかひは獅子島ならん島肌の
くきやかにして車ゆく見ゆ

樹の勢いまだ衰へぬ大榕樹母校
に百年今も枝張る

初めてのわれら夫婦の歌集成り
手にする今宵焼酎のうまし

赤瀬川 海平 三蔵
上野 河南誠一郎
愛媛 小島幸太郎



相談

- ▼ 年金(市役所)
- 4月20日(火) 10時～16時
- 5月20日(木) *
- ▼ 税金(商工会議所)
- 4月20日(火) 10時～15時
- 5月20日(木) *
- ▼ 交通事故(市役所)
- 5月13日(木) 9時30分～10時
- 6月10日(木) *

グループ紹介 109

楽しく、“和”を大切に 「翼チーム」

私たち翼チームは、大原監督と松元コーチ、そして部員十二名（松木、落、大田、西村、田原、花田、中野、尻無浜、切通、神田、川原、渡瀬、神川）で、半年前に結成されました。

まだ試合経験は無く、まずは一勝を目標にしています。今後大きく翼を広げ、更に目標を高く掲げて飛躍していこうと思っています。

バレー好きなママさんばかり



で、二十代から四十代と年齢層に幅がありますが、お互いに、若い人には負けんよ」と、練習にもついでに入力負けん気を出して頑張っています。でも、監督はコーチの「二度同じ失敗をじゃんな」との一声に、頭では分かっているも体がついていかないのがつらいところです。

「練習だけでなく、たまには

飲ん方もよかせんな」の監督の言葉で懇親会となり、練習よりもあまり頭を使わない（苦笑）こちらの方をみんな楽しみにしている様です。

「翼、ファイト！」の掛け声のもと週一回、仕事の疲れも忘れ、チームワークを大切に体力の続く限り、これからもみんなと頑張ろうと思っています。

郷土資料館の展示資料紹介

かくれ念仏の本尊 ④7

薩摩藩では、藩政時代一向宗（浄土真宗）の信仰は禁止されてきました。しかし熱心な信者たちは役人の目を逃れてこっそりと信仰していました。

阿久根でも、尻無の南畑・牛之浜の比之志・高之口の赤崎鼻、飛松海岸、弓木野、阿久根の浜などかくれ念仏の跡と伝えられているところがあります。

信者たちが夜こっそり集まった「ほらあな」は「ガマ」といって、自然の洞穴や岩間の人工を加えない人目につきにくい場所が利用されました。

浜の人たちは自然の洞窟がないので民家を利用していました

が、本尊はかくれ場所がないので柱を貫いてその中に納めていたといえます。浜崎家に伝わって結城タカノさんが郷土資料館に寄託されているのは、阿弥陀如来の立像で、高さ七・五と横巾一・七と重さ八五等の小さな

銅物の仏像ですが、お座仏か、お講仏か、どんな講間の本尊であったか定かではありません。摘発されたらきびしい取り調べをうけることを知りながらも信仰した人びとに安らぎと生かがいを与えた本尊は黒光りしてその苦難の後を静かに声なき声で諭されているようで前に立つと自然に手を合せてしまいます。



郷土資料館蔵
かくれ念仏の本尊

働く婦人の家だより

平成5年度働く婦人の家前期講座のご案内

～ たくさんのご応募をお待ちしております。～

ワープロ初級 (10名)

基本操作から簡単な文書作成まで。

火・木曜日(6月のみ) 14:00～16:00 10回

気功法と太極拳 (30名)

気(呼吸)と心と身体の調和を導くバランス運動。

木曜日 13:30～15:00 15回

源氏物語 (20名)

王朝の「男」と「女」を追求。

木曜日 10:00～12:00 15回

料理 (25名)

毎日の献立に変化ある一品を。

金曜日 10:00～12:00 15回

昼

ワープロ初級 (10名)

基本操作から簡単な文書作成まで。

火・木曜日(6月のみ) 19:00～21:00 10回

パッチワーク (15名)

布のメルヘンを。初心者が対象です。

月曜日 19:00～21:00 15回

ヘルシークッキング (25名)

「からだ」のことを考えた料理。

水曜日 19:00～21:00 15回

バドミントン入門 (15名)

基本練習とゲーム。

金曜日 19:00～21:00 15回

夜

女性講座 (20名)

健康体操、手芸等。

6月～11月 19:00～21:00 5回

お菓子作り (25名)

手作りのお菓子でおやつやおもてなし。

5月～9月 10:00～12:00 5回

短期

●募集期間 4月20日(火)～4月30日(金)

●募集要項

夏休みふれあい講座 (15組)

レクリエーション、楽しい料理等。

夏休み期間 10:00～12:00 3回

1. 開講期間 …… 5月下旬～10月
2. 受講できる人 …… 18才以上で市内在住か市内在勤の女性
3. 受講料 …… 無料 (ただし材料費は実費負担)
4. 申し込み方法
下記の要領で往復ハガキで申し込んで下さい。
 - (1) 希望講座名 第1希望・第2希望
 - (2) 住所(区名)・氏名(ふりがな)・年齢・自宅の電話番号
 - (3) 職業 有・無 (有の場合は勤務先・電話番号)
 - (4) 託児 有・無 (有の場合は子供の名前[ふりがな]・生年月日)
受講期間内は保母が託児をいたします。(ただし、満2才～学齢前)
夜間は行いません。
5. 受講は1人1講座ですが、募集人員に満たない場合は重ねて受講できる場合もあります。ただし、短期講座は定期講座と重ねて受講することができます。
応募者多数の場合は公開抽選を行います。5月6日(木) 午前10時 働く婦人の家
6. 開講日等については、後日ハガキでお知らせします。

【お問い合わせは】 阿久根市働く婦人の家 ☎73-3769

〒899-16 阿久根市鶴見町166番地

誕生

おめでとう

出生児	保護者(区名)	奥 彩花 豊博(段)
佐々木俊輔	謙介(新町)	青木 昇 良次(丸内)
称占 正太	正彦(折口東)	原口玲依奈 俊法(内田)
山田 愛里	正文(段)	井上恵能久 博樹(新町)
中野 嘉大	正市(折口東)	中島 徹 増典(湯)
下古 珠奈	靖孝(遠矢)	松本 翔兵 余四郎(黒之上)
迫 慶亮	聖治(高之口)	大平 将寛 和雄(大尾)
林田 桃子	義孝(湯)	桐野 結生 良男(桐野下)
冨吉 健太	俊文(湯)	大田 大地 昭浩(尻無中)
小瀬 聖太	実成(新町)	東園みさと 幸三(高之口)
相原 恵輔	秀成(折口東)	福崎 弘騎 修一(大丸)
松本 誠	修(古里)	梶尾 仁誠 敏広(橋之東)
平原淳之介	進一朗(湯)	宮原 和也 勇一(大尾)
		春田 琴美 高男(牧内)
		高野 啓亮 謙二(段)
		小川慎之介 真一(高松)

番所丘公園の臨時職員募集

- ◇募集人員 若干名
- ◇年齢 18歳~40歳位までの男女
- お問い合わせ、申し込みは市役所商工観光課まで。☎73-1211(内線1111)

『参勤交代道路を訪ねる旅』参加者募集

- 市内に今も残る江戸時代に使われた参勤交代道路を、あなたも訪ねてみませんか。
- ◇日時 5月9日(日)
- ◇募集人員 申し込み先着100名
- ◇行程 尻無~牛之浜~高之口~市街地~牧内~豊原城
- ◇集合時間及び場所 午前8時30分に市民会館前広場に集合してください。
- ◇その他 全行程のうち8キロ程度を歩きます。当日は身軽な服装で参加してください。また、昼食を持参してください。
- ※申し込み、お問い合わせは社会教育課(市民会館内)まで。☎72-1051

給油所の日曜当番店

○4月18日	寺下石油(橋之西) ☎2077
	上脇石油(大曲) ☎1771
○4月25日	折口石油(折口) ☎0251
	J A阿久根(波留) ☎0075
○5月9日	丸善商事(新町) ☎0266
	高原石油(長谷) ☎2598
○5月16日	阿久根石油(鶴見町) ☎0318
	落合石油(上原) ☎0055
○5月23日	J A阿久根(折口) ☎1302
	松永石油(牛之浜) ☎1342

社協だより

次の方々から市社会福祉協議会に香典返し等の寄付がありました。ありがとうございます。

- 吉川正己(川内市) 久保勲(新町) 白濱貫治(新町) 鬼塚ミエ(浜) 西野勝男(折口東) 牛之濱サチ子(牛之浜) 石坂忠二(波留) 折口良二(町) 桃山ツギ子(黒之上) 宮田正行(波留) 倉津正彦(上野) 田中房長(荻野) 小浦清一(深田) 高原勇(長谷) 神之田庶(中座敷) 畑添安夫(桐野上) 柿原寛司(京都市) 奥ヒデ(上野)

いめいかくを お祈りします

死亡者 姓(区名)	木口 ミ子 86 (深田) 利衛
	神之田 トキヲ 66 (中屋敷) 庶
	西 勲 80 (倉津) ハルエ
	木原キヨミ 67 (古里) 峯山みさる
	迫 フミ子 61 (折口東) 園治
	柿原 キヨ 81 (湯) 寛司
	折口 チサ 89 (町) 良三
	慶越 林蔵 94 (永田上) 誠善
	新蔵 園治 76 (段) フジエ
	田中ハル子 66 (湯) 房長
	牛之濱 敏 72 (牛之浜) サチ子
	川畑 静 85 (大丸) 慶太郎
	畑添ハツキク 89 (桐野上) 安夫
	新戸コマツ 71 (飛松) シゾエ
	前田 クミ 91 (瀬之下) 正實
	奥 光男 76 (上野) ヒデ
	尻無濱サヨノ 86 (尻無中) 隆實
	尻無濱七次郎 78 (尻無下) 耕市
	石堂 和徳 62 (湯) ツヤ
	新戸 作蔵 69 (飛松) サヨ
	田畑ヨシミ 84 (段) 耕一
	東田キクエ 78 (荻野) 光
	松下ミツエ 75 (尻無上) 勝
	盛水 昌 88 (山馬場) スエノ
	倉津フユノ 81 (新町) 正彦
	宮元チエノ 79 (新町) 司
	池田 京子 21 (湯) 綾子
	高野 スズ 58 (長谷) 功
	山下ヨシノ 73 (上野) 時義
	古川スミエ 59 (大林) 澄義
	小原キクエ 81 (永田上) 末治
	榎山 一實 64 (黒之上) ツギ子
	久保ハツミ 68 (新町) 勲
	和田 信幸 22 (倉津) 治幸
	有川 昌子 54 (新町) 房子
	荒木ミヨシ 91 (永田下) シヅカ
	松永 秋藤 59 (牛之浜) 順一
	小浦 清 83 (深田) 清
	鬼塚 貞好 67 (浜) ミエ
	中尾 政義 71 (新町) サナエ
	寺地 西雄 74 (的場) 春子
	柏木 正豊 66 (筒田) カナミ

篤志寄付

広報紙送付のお礼として、福岡市の堂之下当さん(現在本市黒之上区に在住)より寄付をいただきました。ありがとうございました。

人口

4月1日現在()内は前月比	
人口	28,018人 (-229)
男	12,999人 (-97)
女	15,019人 (-132)
世帯数	10,339戸 (-44)
出生	29人
死亡	42人
転入	193人
転出	414人

市税等のお支払いは

簡単便利な口座振替で

あなたの預金口座から自動的に支払われますので、納め忘れがありません。

◎金融機関にある「口座振替依頼書」に必要事項を記入してください。

申し込み手続きは……

◎あなたの預金口座のある金融機関で取り扱えます。

◎「印鑑」「預金通帳」「納付書」を持参してください。

納税はお済みですか？

固定資産税・軽自動車税納期限 4月30日(金)



児童扶養手当及び特別児童扶養手当の支払い日の改正について

従来、児童扶養手当及び特別児童扶養手当の受領は4月、8月、12月（特別児童扶養手当は11月）の各月11日からとなっていました。平成5年4月期からの支払いが次のように改正されます。

- 1 手当を郵便局で受けている方（証書記号が「鹿児」「鹿特」の方）
- ◇ 支払期月の11日から郵便局で受けられます。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日（以下「日曜日等」という）の場合は、その直前の日曜日等でない日から郵便局で受けられます。

例えば、4月11日が日曜日の場合、その直前の日曜日等でない日の4月9日(金)から受けることができます。

- 2 手当が口座振り込みの方（証書記号が「鹿児扶」の方）

- ◇ 支払期月の11日に指定口座に振り込まれます。ただし、その日が銀行の休日に当たる場合は、その日の直前の銀行の休日でない日に指定の口座に振り込まれます。

例えば、4月11日が日曜日で銀行が休日の場合、その直前の銀行の休日でない日の4月9日(金)に指定の口座に振り込まれます。

3 その他

支払期月とは、4月、8月、12月をいいます。ただし、特別児童扶養手当の12月は11月となります。

なお、各種の届け等を提出している方は、上記1、2の支払日にかかわらず、その届け等の処理が終わってから支払われます。

また、受給権者以外の方で、児童扶養手当及び特別児童扶養手当についてお知りになりたい方は、市役所福祉事務所社会係（☎73-1211 内線1411）までお問い合わせください。

一豊かなくらしを考える

みんなの土地を考える

4月は「土地月間」です

◎土地売買のときは、まず地価公示価格を調べましょう。

土地の形状、道路の条件、駅からの距離、上下水道の土地条件を標準地と比較すれば、対象地のおおよその価格がわかります。（地価公示価格は1月1日現在の価格ですので、その後の地価動向も考慮する必要があります。）



在宅医さん

◎ 4月18日

門松医院 ☎0553 (鶴見町)

◎ 4月25日

北国医院 ☎0016 (本町)

◎ 4月29日 (みどりの日)

林胃腸科外科 ☎3639 (大丸)

◎ 5月2日

上野医院 ☎0420 (本町)

◎ 5月3日 (憲法記念日)

阿久根内科医院 ☎0578 (新町)

◎ 5月4日 (国民の休日)

植村整形外科 ☎1041 (段)

脇本病院 ☎2121 (楊之西)

◎ 5月5日 (子どもの日)

有村産婦人科内科 ☎4180 (上野)

◎ 5月9日

上園医院 ☎1055 (本町)

◎ 5月16日

内山病院 ☎1551 (高松)

黒木医院 ☎0200 (下村)

◎ 5月23日

喜多医院 ☎0038 (大丸)

※ 緊急の場合、市民病院はいつでも対応します。

2111-6600

4月27日

5月11日・20日

10時から10時30分

出水保健所から保健センター

にひきとりにきます。

—阿久根市人材育成事業—
海外派遣研修生募集

市では昨年、国際感覚豊かな視野の広い人材を育成するため阿久根市人材育成基金を創設、市内の中・高校生11名をアメリカ合衆国に派遣し、ホームステイを体験してもらいました。

今年も下記の要領で派遣生を募集します。

◆募集対象及び人員

中・高校生10名程度（本人又は保護者が市内に住所を有している者）

◆申し込み方法及び期間

必要な提出書類（申請書、学校長の推薦書、作文）を添え、平成5年4月30日（金）までに市役所企画課（中学生は各学校へ）まで申し込んでください。

◆事業概要

- 研修期間 7月末～8月末（約1ヵ月間）
- 派遣先 アメリカ合衆国 西海岸地域
- 研修内容

現地の家庭に滞在しながら学校に通い、市民生活と学校生活の両面を体験しながら、言葉と心のふれあいにより、幅広い視野と国際感覚と語学力の向上を図る。

- 補助経費
研修対象経費の90%を市が補助します。
- 事前研修及び研修報告
派遣前にオリエンテーション等の事前研修を受講。研修終了後は研修報告会で研修の報告並びに現地での日記等や研修報告書を提出。

◆選考方法

選考委員会で作文及び面接により実施する。
※提出書類等は市役所企画課に備えてあります。
募集・選考についてのお問い合わせも同課まで。（☎73-1211 内線1231）

**母子家庭へ
修学金を支給**

現在、児童扶養手当の支払いを受けている家庭で、児童が18歳に到達したことにより、手当が打ち切り（資格喪失）となった家庭のうち、次の要件を備えている母子家庭の母等に対し、申請により母子家庭修学金が支給されることになりました。

▼支給要件

- ①住所を本市に有していること
- ②該当児童が高等学校に在学していること

▼修学金の額
月額 10,000円

▼支給期間
申請があった日の翌月から当該年度末（3月末日）まで

▼開始日
平成5年4月から

※その他詳しくは、市役所福祉事務所社会係まで（☎73-1211 内線1411）

**一部負担金の変更
老人保健医療費**

平成5年4月1日から医療機関の窓口で支払う一部負担金が

変わりました。

▼外来 1月 900円
（各月の最初の診療日にお支払いくください）

▼入院 1日 700円
（但し、一部負担金の減額及び減免について認定を受けた方は、従来どおり（2ヵ月間に限り1日300円です）

**健康相談日の
変更について**

出水保健所で実施している一般健康相談日が、平成5年4月より、次のとおり変更になりました。

▼相談日 毎週月曜日
▼受付時間 13時～14時

銃砲刀剣類登録審査

県教育委員会では、平成5年度銃砲刀剣類登録事務を下記のとおり実施します。

- ◆審査日 平成5年5月11日（火）
7月13日（火）
9月14日（火）
11月9日（火）

平成6年1月11日（火）

- ◆時間 10時～15時
（但し12時～13時は休憩）
- ◆会場 自治会館（鹿児島市山下町）
- ◆持参品等
・登録しようとする銃砲刀剣類
・印鑑、登録手数料（1件5,200円）など

※詳しくは県教育庁文化課まで
☎0992-26-8111 内線3913

編集後記

地方財政をよく「三副自治」と言います。本市の場合、残念ながらその言葉とおりの状況と言わざるを得ません。「地方の時代」ともはやされても、依然権限は中央に集中し、地方の財政基盤はいつまでも脆弱な状態のまま……。人・モノ・金のうち、地方にあるのは、（多くの場合）「人」だけなのでは？ 残された資源を活用して地域を興さなければならぬなら、「地方の時代」は「人の時代」と言い換えられるでしょう。社会が複雑且つ混迷化する現代、将来が不透明な時代だからこそ、住民の英知とエネルギーの結集が必要とされています。（責）